

Solenopsis fugax

(Latreille, 1798)

地下にすむ小さな泥棒で、大きなアリの巣へトンネルを掘ってブルードを盗み、ほとんどどんなすき間もすり抜けます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

21–28 °C

巣の中



巣の湿度

50–70 %

巣の中



休眠

5–10 °C

11月–2月



結婚飛行

8月–10月

暑い日



働きアリ

1.5–2.5 mm

どれも同じ大きさ



女王

4–6.5 mm

女王は1匹または複数



コロニーの規模

まだデータがありません

成長速度：普通

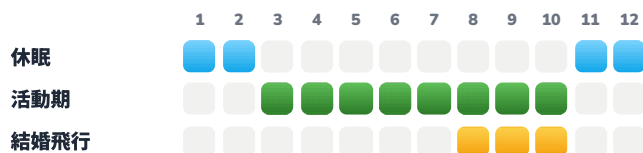


脱走リスク

高い

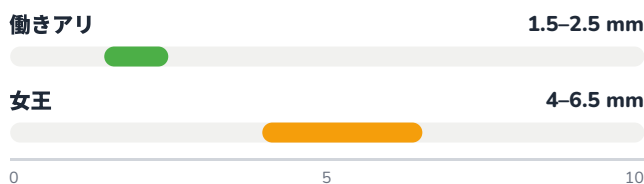
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

昆虫

砂糖

おすすめの巣

1. アクリル製の巣
2. Ytongの巣
3. 試験管セットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

創設がいちばんの難関で、多くの女王アリが死にます。試験管に湿った土か粘土の層を入れる、または綿を当てた穴あきのプラスチックキャップで閉じて空気を湿った状態に保つと、飼育者はよい結果を得ています。イタリアの経験豊富な飼育者は、他のアリなら必要とするよりもずっと大きくなるまで、若いコロニーを試験管の中に置いておくことも勧めています。

注意

石膏、ホットグルー、シリコンでさえ、この働きア리를閉じ込められるとは思わないでください。経験豊富な飼育者によると、3つとも掘り抜かれ、長持ちしたのは石材用の充填剤だけで、そのあとの脱走はチューブの接続部やガラスの継ぎ目から起こりました。すべての継ぎ目を密閉し、セットアップ全体を閉じた箱の中に入れておきましょう。